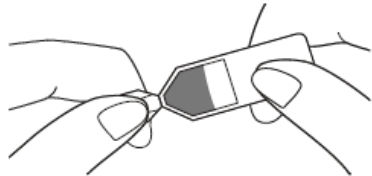
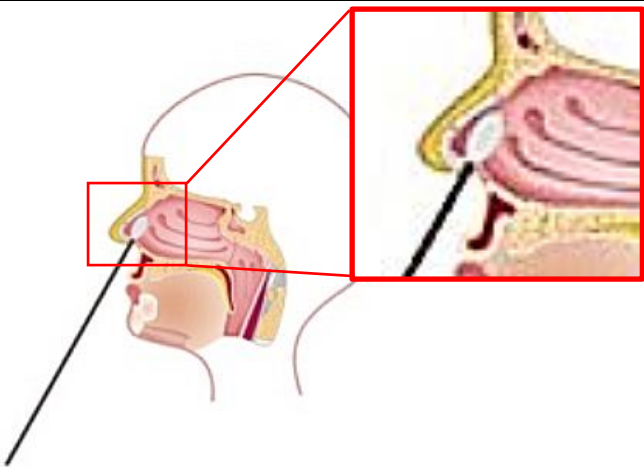
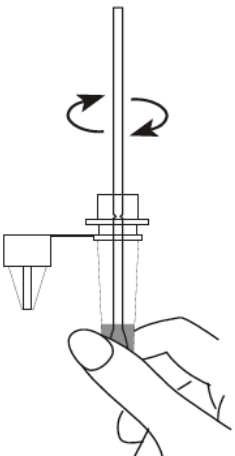
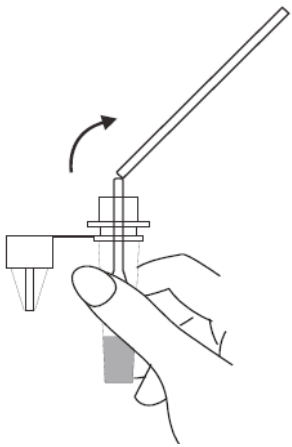
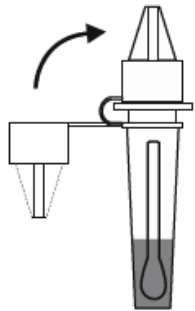
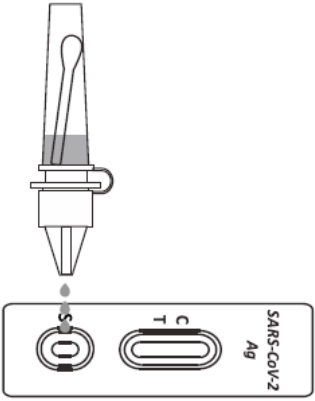
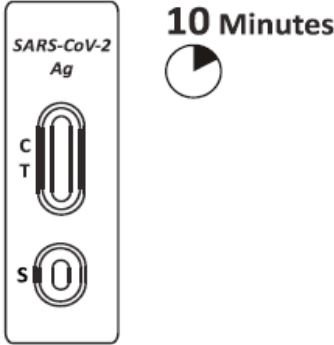




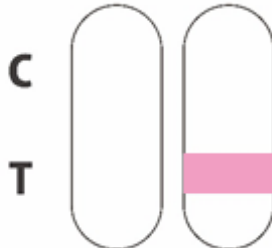
操作手順

	<p>① 内容物の確認 内容物が全て揃っている事を確認してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>① スクリーニングデバイス</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>② 鼻腔スワブ</td> <td>1 個</td> </tr> <tr> <td>③ チューブ(キャップ付き)</td> <td>1 本</td> </tr> <tr> <td>④ 検査液</td> <td>1 本</td> </tr> <tr> <td>⑤ チューブ立て</td> <td>1 個</td> </tr> </table> <p>※ キット内容物はサプライ品の供給状況によって変わります。ご了承ください。</p>	① スクリーニングデバイス	1 個	② 鼻腔スワブ	1 個	③ チューブ(キャップ付き)	1 本	④ 検査液	1 本	⑤ チューブ立て	1 個
① スクリーニングデバイス	1 個										
② 鼻腔スワブ	1 個										
③ チューブ(キャップ付き)	1 本										
④ 検査液	1 本										
⑤ チューブ立て	1 個										
	<p>② 検査前にまず、鼻をかみます。</p> <p>※ この際に鼻血が確認された場合は、時間を置いてから検体採取をしてください。</p>										
	<p>③ 検査液の入ったボツルの上部をひねり開封します。</p> <p>※ ボツルに最初から検査液が入っているキットもございますので、その場合は、そのまま次に進んでください。</p>										
	<p>④ チューブ(キャップ付き)をチューブ立てに立て、「③」で開封した検査液を全量入れます。</p>										

	<p>⑤ 鼻腔スワブを使って検体を採取します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 鼻腔スワブの先端(綿球部)全体を鼻腔に挿入します(約 2.5 cm程度) ※ スワブを鼻壁に当て、約 15 秒間しっかりと採取します。 ※ 左右の鼻腔両方から採取してください
	<p>⑥ チューブ下部を指で 10 回以上押し、サンプルと検査液が完全に混ざり合うようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 唾液と検査液が完全に混和されていないと十分な結果が得られない場合があります。そのため、完全に混和するまで本操作を繰り返してください。
	<p>⑦ 鼻腔スワブを少し持ち上げて、「折線」の位置でスワブを折ります。</p>
	<p>⑧ 付属のキャップを取り付けます。</p>

	<p>⑨ スクリーニングデバイスの包装を開け、清潔で水平な面に置きます。スポイトキャップのついたチューブを逆さまにして、検体ウェル(S)に3滴たらしめます。</p>
	<p>⑩ 検査結果は 10 分で検査結果を得られます。</p> <p>※ 20 分以上経過した場合、検査結果は無効となります。</p>

新型コロナウイルス抗原検査の結果の見方

		
<p>陰性 (Cに線が現れます)</p>	<p>陽性 (2本の線が現れます)</p> <p>※Tエリアの色はウイルス核タンパク質の濃度に依存します。 線が薄くても現れた場合は全て陽性となります。</p>	<p>検査無効 (Cに線がない)</p> <p>※手順を確認し、新しいテストキットでテストをやり直してください。不十分な検体量、不適切な操作手順などの原因により、制御ライン(C)に線が現れず検査無効となった可能性があります。</p>